

# 健康増進編

## 1 健康手帳の交付

平成 21 年度の市区町村における「健康手帳交付数」は約 118 万人で、「男」約 44 万 3 千人、「女」約 67 万 5 千人となっている（表 1）。

表 1 健康手帳の交付状況

(単位:人)		平成 21(2009)年度		
	総 数	40～74歳	75歳以上	
総 数	1 179 892	988 368	186 701	
男	442 518	357 064	85 454	
女	675 123	580 492	94 631	

注:年齢階級別及び性別の計上のない市区町村があるため、総数と年齢階級及び性別の計が一致しない。

## 2 健康診査

平成 21 年度に市区町村が実施した健康診査の受診者数は約 7 万 8 千人で、「男」約 3 万 4 千人、「女」約 4 万 4 千人となっている（表 2）。

検査結果の状況を見ると、「高血圧症個別健康教育対象者（イ）」約 2 万 3 千人、「糖尿病個別健康教育対象者（ア）」約 2 万 2 千人となっている（表 3）。

表 2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

(単位:人)		平成 21(2009)年度					
	総 数	40～49歳	50～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
総 数	77 856	8 691	11 537	9 842	11 832	12 801	23 153
男	33 921	3 612	6 200	5 360	5 592	5 496	7 661
女	43 935	5 079	5 337	4 482	6 240	7 305	15 492

注:1)老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。

2)健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」、「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表 3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

		平成 21(2009)年度								
	受診者数	検 査 結 果								
		血 圧		脂 質 異 常		糖 尿 病		貧 血 (疑いを含む。)	肝 疾 患 (疑いを含む。)	腎 機 能 障 害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総 数 (人)	77 856	10 206	22 570	16 165	20 227	21 564	8 524	9 711	12 215	7 856
構成割合(%)	100.0	13.1	29.0	20.8	26.0	27.7	10.9	12.5	15.7	10.1
男 (人)	33 921	4 610	10 419	7 342	8 586	9 249	4 436	4 193	7 069	3 679
構成割合(%)	100.0	13.6	30.7	21.6	25.3	27.3	13.1	12.4	20.8	10.8
女 (人)	43 935	5 596	12 151	8 823	11 641	12 315	4 088	5 518	5 146	4 177
構成割合(%)	100.0	12.7	27.7	20.1	26.5	28.0	9.3	12.6	11.7	9.5

注:「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者で、平成 21 年度中に指導を開始した者をいい、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者で平成 21 年度中に指導を開始した者をいう。

### 3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

平成 21 年度に市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は約 22 万 5 千人、骨粗鬆症検診の受診者数は約 27 万 9 千人となっている。

指導区分の割合をみると、「要精検者」は「歯周疾患検診」では 77.9%となっており、いずれの年齢でも 7 割を超え、「骨粗鬆症検診」では 13.9%で年齢とともに上昇している。(表 4)

市区町村における平成 21 年度の検診実施率は、「歯周疾患検診」53.9%、「骨粗鬆症検診」61.6%となっている(表 5)。

表 4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

(単位:人)

平成 21 (2009) 年度

	受診者数	指 導 区 分						
		要精検者	受診者数に 占める割合(%)	要指導者	受診者数に 占める割合(%)	異常認めず	受診者数に 占める割合(%)	
歯周疾患 検診	総 数	225 158	175 301	77.9	20 355	9.0	28 142	12.5
	40 歳	59 940	45 705	76.3	5 723	9.5	8 066	13.5
	50 歳	42 483	32 895	77.4	3 804	9.0	5 457	12.8
	60 歳	66 046	51 852	78.5	6 036	9.1	7 851	11.9
	70 歳	56 689	44 849	79.1	4 792	8.5	6 768	11.9
骨粗鬆症 検診	総 数	279 024	38 822	13.9	80 307	28.8	159 891	57.3
	40 歳	28 997	530	1.8	3 199	11.0	25 268	87.1
	45 歳	21 895	524	2.4	2 499	11.4	18 872	86.2
	50 歳	31 358	907	2.9	4 164	13.3	26 287	83.8
	55 歳	35 311	3 015	8.5	9 282	26.3	23 014	65.2
	60 歳	63 412	9 935	15.7	22 847	36.0	30 628	48.3
	65 歳	51 759	11 112	21.5	19 947	38.5	20 699	40.0
	70 歳	46 292	12 799	27.6	18 369	39.7	15 123	32.7

注:1)「受診者数」には、「指導区分」の不詳を含む。

2)「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診				
	平成17年度 (2005)	18年度 ( '06)	19年度 ( '07)	20年度 ( '08)	21年度 ( '09)	平成17年度 (2005)	18年度 ( '06)	19年度 ( '07)	20年度 ( '08)	21年度 ( '09)
実施市区町村数	964	959	950	954	941	1 196	1 167	1 151	1 106	1 075
検診実施率(%)	52.3	52.5	52.3	53.0	53.9	64.9	63.9	63.4	61.4	61.6
全国市区町村数	1 844	1 827	1 816	1 800	1 746	1 844	1 827	1 816	1 800	1 746

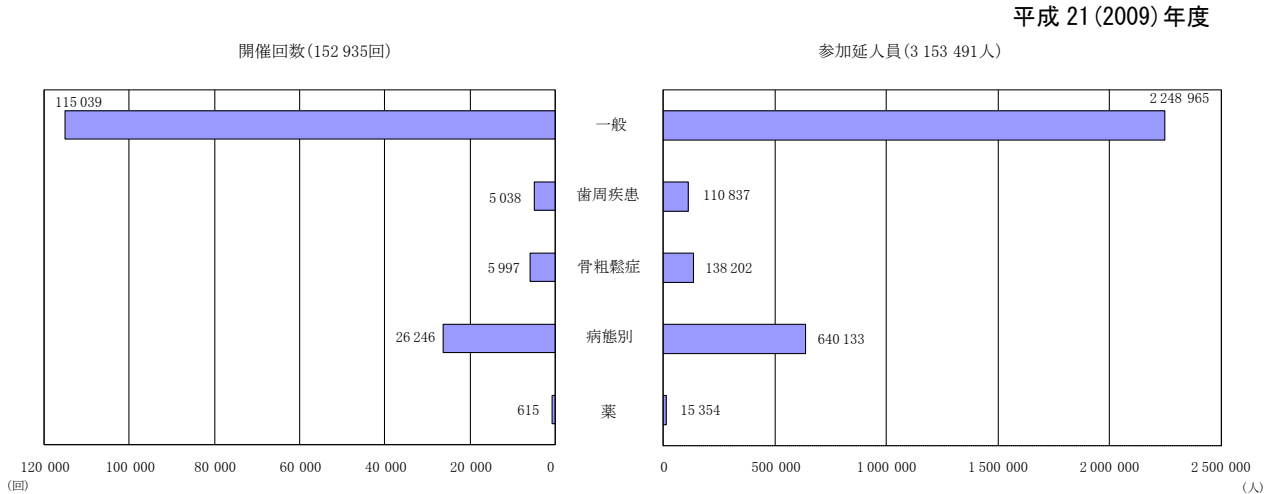
注: 検診実施率=(実施市区町村数/全国市区町村数)×100

#### 4 健康教育

平成 21 年度に市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は約 15 万 3 千回、参加延人員は約 315 万 3 千人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図 1)

図 1 集団健康教育の実施状況



- 注: 1) 「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。  
 2) 「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。  
 3) 「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。

#### 5 健康相談

平成 21 年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は約 165 万 9 千人となっている。重点健康相談の内容別にみると、「病態別」が約 19 万 1 千人と最も多くなっている。(表 6)

表 6 健康相談の実施状況

		被指導延人員(人)			
		平成19年度 (2007)	20年度 ( '08)	21年度 ( '09)	対前年度比(%)
総	数	2 563 583	1 693 691	1 658 638	97.9
重点 健康 相談	総	877 717	562 188	553 651	98.5
	高	123 623	94 872	88 236	93.0
	脂	57 934	27 901	25 458	91.2
	糖	58 944	35 455	30 305	85.5
	歯	135 678	91 236	83 792	91.8
	骨	125 904	103 918	107 085	103.0
	女	・	・	27 634	・
	病	375 634	208 806	191 141	91.5
総	1 685 866	1 131 503	1 104 987	97.7	

注: 「病態別」とは、相談内容の「高血圧」から「骨粗鬆症」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導等をいう。

## 6 機能訓練

平成 21 年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、「実施施設数」511 ヶ所、「被指導延人員」約 7 万 5 千人となっている（表 7）。

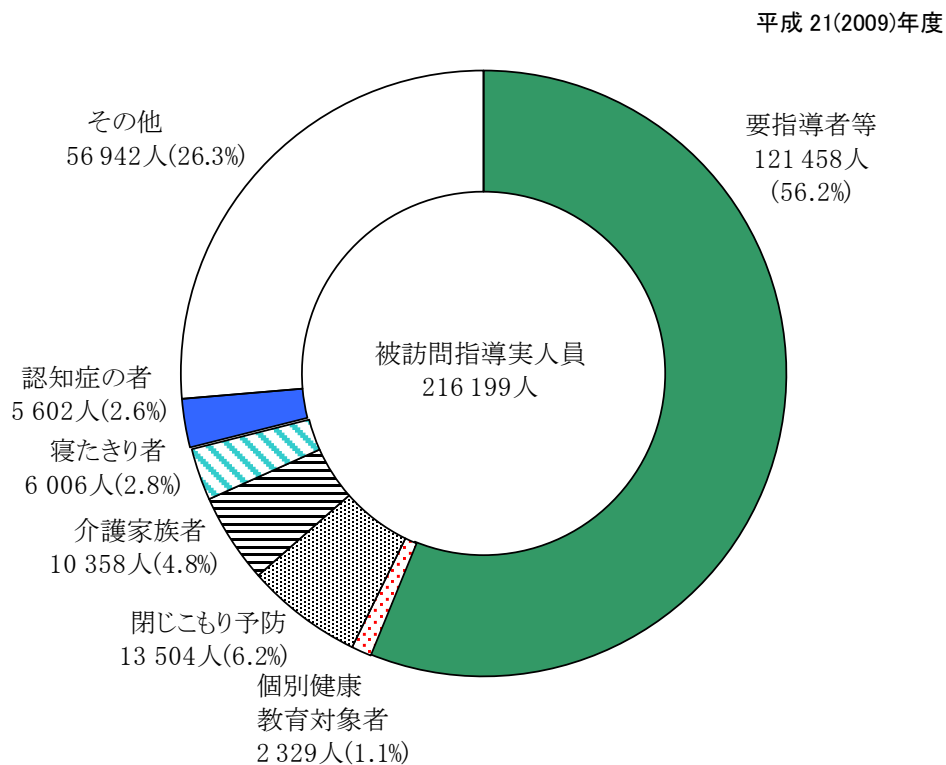
表 7 機能訓練の実施状況

	平成18年度 (2006)	19年度 ( '07)	20年度 ( '08)	21年度 ( '09)	対前年度比(%)
実施施設数 (ヶ所)	1 232	957	580	511	88.1
実施回数 (回)	34 182	23 624	16 286	14 195	87.2
被指導実人員 (人)	15 264	9 090	5 002	4 695	93.9
被指導延人員 (人)	191 286	123 975	79 699	75 008	94.1

## 7 訪問指導

平成 21 年度に市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は約 21 万 6 千人となっており、指導内容別にみると、「要指導者等」が約 12 万 1 千人（56.2%）と最も多くなっている（図 2）。

図 2 訪問指導内容別にみた被訪問指導実人員



注:「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導を行った者をいう。

## 8 がん検診

### (1) がん検診の受診状況

平成21年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」10.1%、「肺がん」17.9%、「大腸がん」16.5%、「子宮がん」21.0%、「乳がん」16.3%となっている（表8、図3）。

平成20年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうち、「がんであった者のがん検診受診者に対する割合」は「乳がん」0.32%、「大腸がん」0.21%となっている（表9）。

表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

		平成17年度 (2005)	18年度 ( '06)	19年度 ( '07)	20年度 ( '08)	21年度 ( '09)
胃がん	受診者数 (人)	4 344 918	4 227 730	4 262 048	3 916 203	3 946 780
	受診率 (%)	12.4	12.1	11.8	10.2	10.1
肺がん	受診者数 (人)	7 537 013	7 387 430	7 506 113	6 685 467	6 911 047
	受診率 (%)	22.3	22.4	21.6	17.8	17.9
大腸がん	受診者数 (人)	6 630 503	6 824 088	7 176 312	6 418 334	6 693 859
	受診率 (%)	18.1	18.6	18.8	16.1	16.5
子宮がん	受診者数 (人)	3 439 094	3 320 265	3 538 132	3 499 278	4 412 368
	受診率 (%)	18.9	18.6	18.8	19.4	21.0
乳がん	受診者数 (人)	2 267 189	1 631 811	1 892 834	1 792 176	2 574 508
	受診率 (%)	17.6	12.9	14.2	14.7	16.3

注: 1) 受診率=(受診者数/対象者数)×100

平成18年度「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、平成17年度から「子宮がん」及び「乳がん」の受診率の算出方法を変更した。

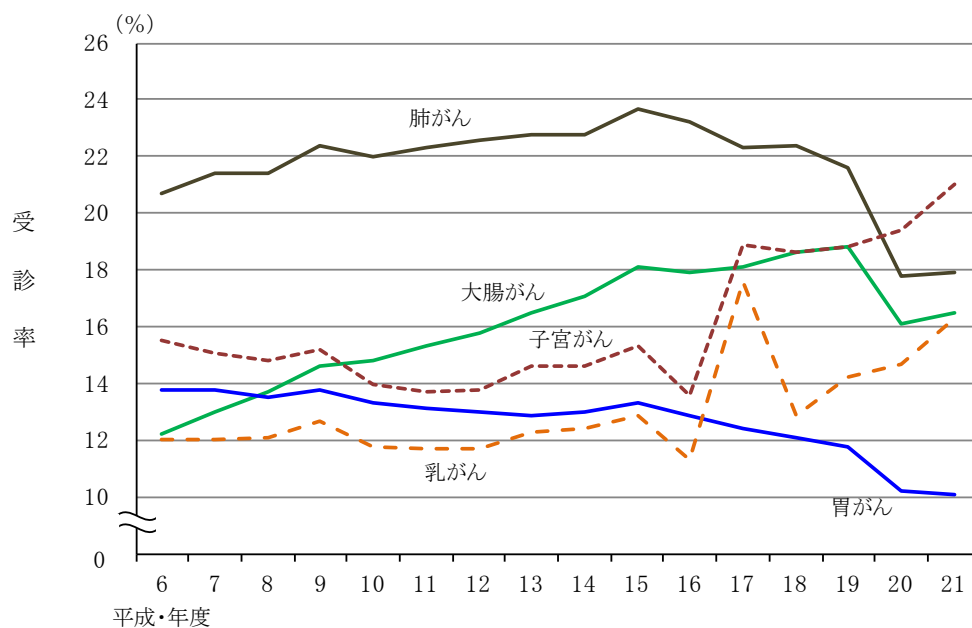
受診率=(前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続の受診者数)/(当該年度の対象者数)×100

2) 平成17年度以降の受診率は、計数不明を除く。

3) 「受診者数」については、「Ⅲ用語の解説」参照。

4) 平成18年度以降の「乳がん受診者数」については、視触診方式及びマンモグラフィの併用者を計上。

図3 がん検診受診率の年次推移



注: 受診率については表8の注を参照。

表9 平成20年度がん検診受診者における要精密検査者及びがんであった者の割合

平成20(2008)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
がん検診受診者数 (人)	3 877 829	6 680 080	6 405 548	3 516 610	1 742 615
要精密検査者 (人)	385 058	195 584	461 396	41 947	150 493
「がん検診受診者」に対する割合 (%)	9.93	2.93	7.20	1.19	8.64
がんであった者 (人)	6 431	3 983	13 597	2 435	5 502
「がん検診受診者」に対する割合 (%)	0.17	0.06	0.21	0.07	0.32
「要精密検査者」に対する割合 (%)	1.67	2.04	2.95	5.80	3.66

注:1)がん検診受診者数は、平成21年度報告で改めて把握したものであり、「表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移」の平成20年度がん検診受診者数の数値とは異なる。

2)要精密検査者数は、平成21年度から前年度分を把握することとした。

3)乳がん検診は、視触診方式及びマンモグラフィの併用者を計上。

(2) がん検診受診率の分布状況

平成21年度の市区町村のがん検診受診率の分布をみると、「肺がん」は受診率の高い市区町村が多く、一方、「胃がん」は低い市区町村が多い(表10、図4)。

表10 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

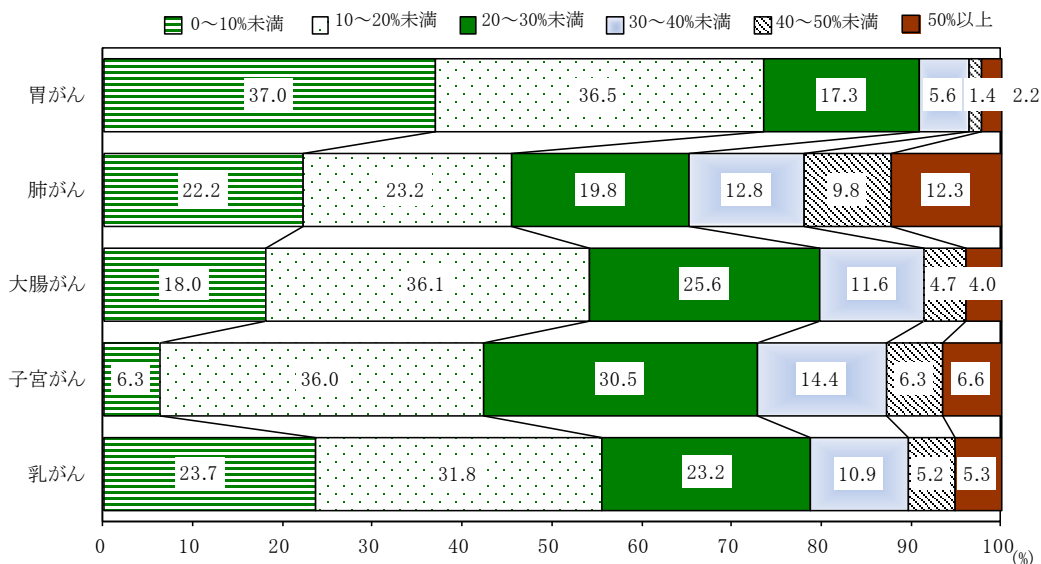
平成21(2009)年度

	全国 市区町村数	がん検診受診率					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 746	646	637	302	97	25	39
肺がん	1 746	388	405	345	223	171	214
大腸がん	1 746	315	630	447	202	82	70
子宮がん	1 746	110	628	532	251	110	115
乳がん	1 746	413	556	405	190	90	92

注:「0~10%未満」は、計数不明を含む。

図4 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成21(2009)年度



## 9 肝炎ウイルス検診

平成 21 年度に市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」約 64 万 4 千人、「C型肝炎ウイルス検診」約 64 万人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は約 8 千人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者は約 6 千人となっている。(表 11)

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は約 1 千回、参加延人員は約 3 万 2 千人、健康相談の開催回数は約 2 千回、参加延人員は約 1 万 7 千人となっている(表 12)。

表 11 肝炎ウイルス検診の実施状況

(単位:人)

平成 21 (2009) 年度

	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「陽性」と判定された者	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者
総数	643 658	7 582	640 248	5 708
40歳	62 666	517	62 759	480
41～44歳	41 506	435	41 454	193
45～49歳	39 310	487	39 113	265
50～54歳	42 186	589	41 837	273
55～59歳	58 010	813	57 394	393
60～64歳	101 484	1 485	100 685	588
65～69歳	108 463	1 402	107 660	901
70歳以上	190 033	1 854	189 346	2 615

表 12 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成 21 (2009) 年度

健康教育		健康相談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
1 413	31 511	2 415	16 897